

入院の際は必ず本誌をご持参ください



HOSPITALIZATION GUIDE

入院のご案内

入院予定日 月 日 曜日

(手術予定日 月 日 曜日)

●入院当日は

時頃に

☐ 本館1階3番 入院受付

☐ 救急外来受付(土・日・祝日)

☐

へお越しください。

原 三 信 病 院

HARASANSHIN HOSPITAL

入院の準備

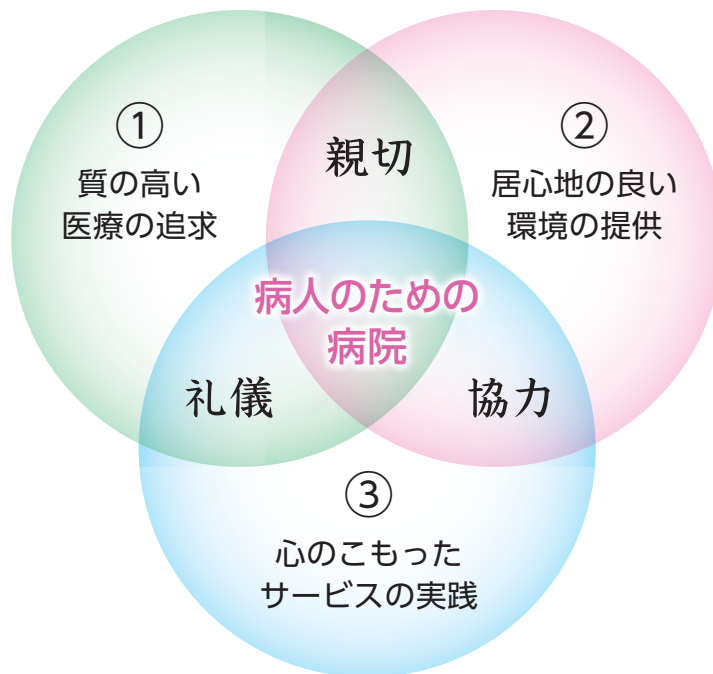
入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

原三信病院 理念・基本方針



患者様の権利と責務

原三信病院では患者様の権利を尊重し、信頼される医療を行うために
患者様の権利と責務に関する宣言をここに掲げます。

1. 良質の医療を受ける権利

適切で良質な医療を平等に継続して受ける権利があります。

2. 選択の自由の権利〔セカンドオピニオン〕

病院や医師を自由に選択し、または変更する権利と他の医師の意見を求める権利があります。

3. 情報を知る権利

治療や病状について真実を知り、納得ができるまで十分な説明を受ける権利があります。

4. 自己決定の権利

十分な説明を受け、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

5. 機密保持を得る権利

治療で医師や従事者が知り得た全てのプライバシーの機密保持を得る権利があります。

6. 尊厳を得る権利

尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。

7. 情報を提供する責務

医師をはじめとする医療提供者に対し、自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。

8. 医療提供に支障を与えない責務

全ての患者様が、適切な医療を受けられるようにするため、患者様には、他の患者様の治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責務があります。

暴力や暴言、ハラスメントなどの行為により、他の患者様に迷惑がかかる場合や医療提供者の医療行為が妨げられた場合、診療を中止することがございます。

9. 医療費を適正に支払う責務

患者様は当院が適正に算定、請求した医療費を遅滞なく支払う責務があります。



個人情報の取り扱い

安全な治療のために、患者さんの個人情報は下記の通り取り扱います。

- 病室前、ベッドの枕元には、患者さんのお名前を掲示します。
- 治療および検査時に用いる点滴容器や薬袋などにはお名前を表示します。
終了後はお名前が分からないように処理をして廃棄します。
- 患者さんの食事には、お名前を記載した食札をお付けします。蓄尿が必要な方の蓄尿袋には、お名前を表示します。

個人情報取り扱いについてご希望がありましたら、職員までお申し出ください。お申し出がない場合は、同意いただけたものとして取り扱います。また、いつでも変更や撤回が可能です。

ご協力をお願い

- 病状や治療方針などの説明を受ける際は、聞き間違いや誤解を防ぐため、できる限りご家族と一緒にお願いします。また、説明を受ける患者さん、ご家族は一度にお集まりください。
- 当院では、厚生労働省より発令された「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取り組み」に則り、緊急の場合を除き、病状の説明は原則として平日の診療時間内、または医師が指定する時間に行います。
- 宗教的信条、ドナーカード、人工呼吸器の使用や輸血に関するご希望など、治療に関する意思表示がある場合はお知らせください。
- 安全確保およびプライバシー保護のため、迷惑行為や写真・動画撮影並びに録音、SNS投稿について、病院敷地内一切禁止としております。ご不明な点がありましたら、お気軽に職員へおたずねください。



— 目 次 —

1 入院の準備

入院の手続き・持ち物……………3

2 入院中の過ごし方

入院中の生活について……………5～8

患者さんの安全のために……………9～12

3 支援体制について

退院にむけた支援について……………13

4 退院・入院費用について

退院が決定した患者さんへ……………15

入院診療費の計算方法について……………16

高額療養費制度……………17

診断書・証明書等について……………18

5 相談窓口・施設案内

各種相談窓口のご案内……………19

本館1階フロアマップ……………20

病院敷地図・立面図……………21

入院の手続き・持ち物

ホームページでも
ご覧いただけます。



*チェック ☒ しながら確認してください。

外来総合受付で確認するもの

- ☐ 診察券
- ☐ マイナンバーカード ※
または資格確認書



※ マイナンバーカードの健康保険証利用登録がお済みでない方は、外来総合受付に設置しているカードリーダーにかざすことで登録できます。

お持ちの方

- ☐ 医療福祉費受給者証
- ☐ 限度額適用認定証 ▶17ページ参照
- ☐ 介護保険証

* 資格確認書や各種医療証は確認後、お返しします。
入院中に変更や更新がありましたら、各病棟のスタッフステーションにお申し出ください。

手術を受けられる方へお願い

①禁煙をしましょう

喫煙（受動喫煙含む）は、手術の合併症を増やし傷の治りも悪くします。禁煙は早いほど有効です。手術後も継続することで、病気の経過を改善します。



②口の中を清潔に保ちましょう

口の中を清潔に保つことで、感染症のリスクを減らし術後の回復を早めることができます。歯周病など歯のぐらつきのある方は、かかりつけの歯科を受診しておきましょう。

③皮膚の保湿（スキンケア）を行いましょう

皮膚を清潔に保ち保湿することで、手術部位の感染予防に繋がります。

提出していただくもの

- ☐ 入院申込書
- ☐ 各種同意書



* 訂正時は、修正箇所を二重線で訂正してください。

3番 入院受付



本館1階フロアマップ

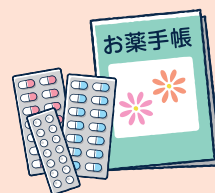
▶ 拡大図は20ページにあります

* ご不明な点がありましたら、
☎092-291-3434 (代表) まで
お問い合わせください。

お持ちいただくもの

☐ 服用中のお薬

- ・予定入院期間分に多少余裕を持った日数分のみをお持ちください。(日分程度)
- ・目薬、吸入薬なども忘れずにご持参ください。
- ・現在服用していないお薬(過去の飲み残し分など)は持参不要です。

☐ お薬手帳

- ・持っていない場合は「お薬説明書」などをお持ちください。

☐ 中止の指示が出ているお薬

- ・いつから中止となるのか再度確認をお願いします。
- ・手術後に再開する場合があるので中止薬も必ずお持ちください。

他医療機関での処方・受診について

他院から処方されているお薬は当院では準備できない場合もありますので、現在服用中のお薬は全てお持ちください。また、他院へ定期通院されている方は入院前の受診をお勧めします。やむを得ず入院中に受診しなければならない方は、事前に職員にご相談ください。

☐ 下着☐ 洗面・入浴用具

石鹸またはボディソープ、シャンプー、リンス、歯ブラシ
電気カミソリ、プラスチックコップなど

☐ パジャマ(寝間着)☐ バスタオル☐ タオル

有料のレンタルもごございます

～レンタルのご案内～

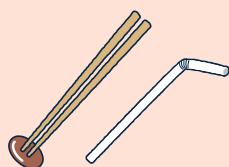


入院に必要なものについては、入院セットをご用意しています。

▶ 別紙参照

☐ 食事用具

箸、コップ(割れないもの)
ストローなど

☐ 履きもの

転倒予防シューズなど、靴タイプのもの
(売店でも販売しています)
スリッパや樹脂製サンダルは禁止です

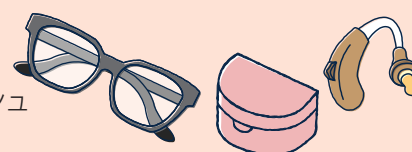
▶ 9ページ参照

☐ イヤホン

*多床室でのテレビ利用時に必要
(売店で販売しています)

☐ ティッシュペーパー☐ 入院のご案内
(この冊子)☐ 必要時

義歯入れ、眼鏡、補聴器、爪切り、コンタクトレンズ、ビニール袋、ウェットティッシュ
洗濯用洗剤(コインランドリーを使用される方) *粉末、液体どちらも使用可



*私物への記名をお願いいたします。

*医療・看護の提供が制限されるものや安全性が担保できないものなど、療養環境や安全管理上問題となる物品については、持ち込みをお断りする場合があります。

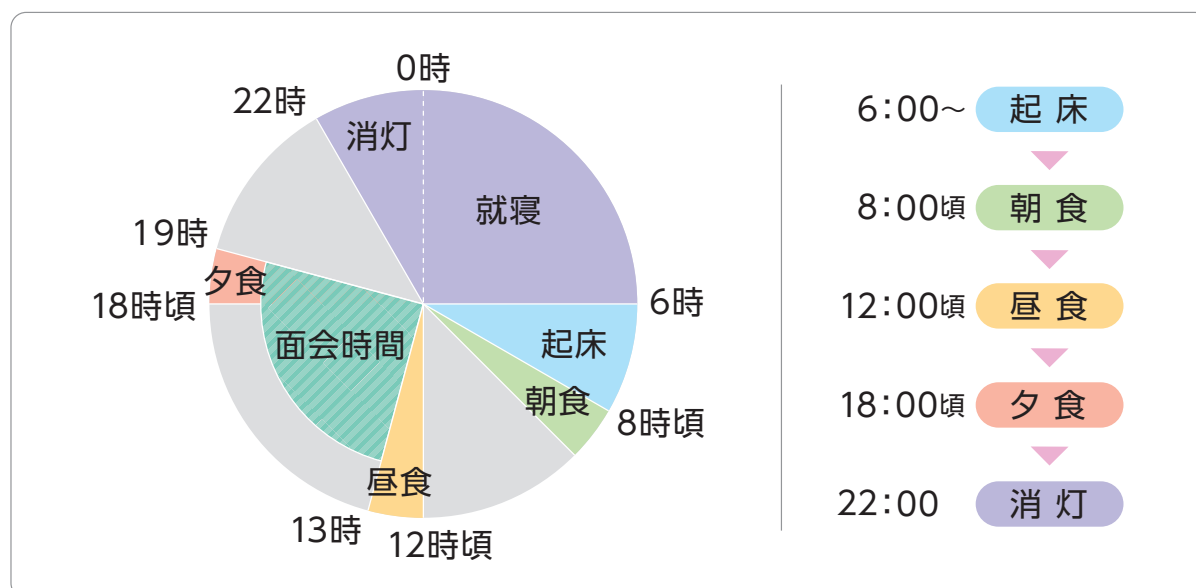
入院中の生活について

ホームページでも
ご覧いただけます。



入院中の生活について

時間割



- 22時～翌6時までの間、洗面所の利用はご遠慮ください。
- 消灯後は、テレビ、携帯電話、照明の使用はご遠慮ください。



食事

一般食	食事内容に特別な制限のない方
治療食	糖尿病・心臓病・肝臓病・胆石症・膵臓病・腎臓病・術後食など *治療食の方は他の物を召し上がらないでください。

- 食事は適時適温でお持ちします。
- 食事をお持ちする時間は病棟によって多少前後する場合があります。
- お茶は各階のティーサーバー（給湯器）をご利用ください。やけど防止のため、院内のティーサーバーのお湯の温度は60度に設定しています。

ティーサーバー利用時間	6:00～22:00
-------------	------------



シャワー浴

- シャワー浴は主治医の許可が必要です。
- 当日予約制となっております。ご希望の方は希望日当日に、各病棟のスタッフステーションで予約をお願いします。





病室

- ベッドの空き状況により、入院予定日の変更をお願いすることがあります。
- 救急患者さんの病状により、夜間であっても病棟・病室を移っていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 多床室でのベッド位置の希望(窓側など)はお受けできません。あらかじめご了承ください。
- 個室のお申込みをいただいてもご希望に沿えない場合があります。ご理解をお願いいたします。
- 病室入口の氏名掲示や外部からのお電話のお取り次ぎなど個人情報に関するご希望がある方はスタッフステーションへお申し出ください。



外出・外泊

- 外出や外泊を希望される際は、主治医の許可が必要となります。事前に主治医または看護師へご相談のうえ、所定の用紙にてお手続きをお願いいたします。

* 外出とは、近隣のコンビニエンスストア等、病院敷地外へ出る行為全般を指します。



面会

面会時間

13:00～19:00

- 面会時間は、治療内容や体調に合わせて柔軟に調整いたします。お気軽にご相談ください。
- 面会にお越しの方は、1階の面会受付でお手続きいただき、面会証をご着用ください。
- 感染防止のため、中学生以下のお子様を連れての面会はお控えください。また面会は1回につき3名以内でお願いします。
- 病状により面会をお断りすることがあります。
- 病室内でのご飲食(面会にお越しの方)はご遠慮ください。
- 入院中は、ご家族の付き添い(宿泊)の必要はありません。
- 血液内科病棟(東館8階)は面会制限があります。面会受付でご確認ください。



感染症の流行状況により面会・外出・外泊を制限する場合があります。最新の情報は、ホームページでご確認いただきますよう、お願いします。



入院中の生活について

ホームページでも
ご覧いただけます。



院内設備について

洗濯(コインランドリー)

設置場所	ご利用可能時間	洗濯機	乾燥機
本館3階(南側)、本館5階、東館4～8階	8:00～20:00	200円/1回	100円/1回

●両替機はありません。あらかじめ小銭をご準備ください。

＊東館8階のコインランドリーは、血液内科病棟専用です。



テレビ・冷蔵庫

カード(テレビ・冷蔵庫併用)	テレビ	冷蔵庫
1,000円	16時間45分	100円/1日
3,000円 ※売店でのみ販売	50時間15分	

●床頭台のテレビおよび冷蔵庫を利用される場合は、専用のカード(有料)が必要です。
カードは各病棟または売店で購入できます。(余ったカードは退院時に売店で精算できます。)

●多床室の場合、他の患者さんのご迷惑とならないよう、イヤホンを使用してご利用ください。
イヤホンは売店で販売しています。

●他の患者さんの睡眠を妨げないよう、消灯後(22時以降)のテレビ視聴はご遠慮ください。



公衆電話

公衆電話	〔本館〕1階、5階	〔東館〕1階
------	-----------	--------



その他ご案内

売店 ▶20ページ フロアマップ参照

場 所	営業時間		
本館1階	月～金(平日)	土・日・祝日	
	8:30～18:00	10:00～13:30	14:30～17:00

●オムツ・イヤホン・テレビカードなども販売しています。

●売店の営業時間は変更になる可能性があります。



ATM(西日本シティ銀行) ▶20ページ フロアマップ参照

設置場所	ご利用可能時間		
本館1階入院受付前	月～金(平日)	土曜日	日曜日・祝日
	9:00～19:00	9:00～17:00	利用不可

●他行のご利用や、ご利用になる時間によっては手数料が発生します。

●お取り扱い内容によってはご利用可能時間が異なります。



注意事項

電子機器

使用・通話可能時間

6:00～22:00（通話は8:00～）

- 携帯電話（スマートフォン、タブレット端末等含む）は所定の場所でご使用ください。
*病室内での通話をご遠慮ください。
- 病院内での電子機器※の利用は他の患者さんのご迷惑にならないよう、場所とマナーを守ってご使用ください。
- 音や光が他の方のご迷惑にならないように、ご配慮ください。多床室では、テレワークやオンライン授業など、声を出す作業は他の患者さんのご迷惑となるため、ご遠慮ください。
- プライバシー保護の観点から、写真や動画の撮影・録音、およびSNSへの投稿は一切禁止しています。ご理解とご協力をお願いします。
- 外部委託で有料のWi-Fiを提供しています。▶別紙参照

※電子機器の例

携帯電話、スマートフォン、タブレット、ノートパソコン、携帯ゲーム機、携帯DVDプレイヤーなど

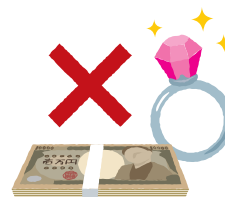


▲Wi-Fi接続（有料）
はこちら



貴重品

- 盗難防止のため多額の現金や貴重品の持ち込みをご遠慮ください。
- 床頭台の引き出しにセーフティボックスを設置しています。貴重品の管理にご利用ください。（セーフティボックスの鍵または暗証番号の管理には十分に注意してください。）
- *セーフティボックスの鍵を紛失・破損した場合は鍵の代金として1,800円（税込）をいただきます。なお、価格改定により、記載の金額から変更になることがあります。あらかじめご了承ください。
- ベッドから離れる際、貴重品は身につけていただくか、セーフティボックスをご利用ください。
- 金銭や私物（義歯・眼鏡・補聴器・時計・スマートフォン・ノートパソコン・アクセサリーなどの装飾品、装着品など）の管理については自己責任でお願いします。
- 金銭や私物の紛失・盗難・破損などに関して、当院では一切の責任を負いかねます。



その他

- 入院期間中に、病院の備品を破損・紛失された場合は実費相当額をご負担いただきます。
- 電子体温計を破損・紛失した場合、再購入代として3,300円（税込）をご負担いただきます。なお、価格改定により、記載の金額から変更になることがあります。あらかじめご了承ください。
- 外部からのお電話のお取り次ぎは20時までとなります。
- 当院では、職員への謝礼や贈答品はお断りしています。

入院の準備

入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

患者さんの安全のために

病院内では医療安全に努めています。

入院期間を安全にお過ごしいただくために、患者さんにもご協力をお願いしております。



患者さんの確認について

リストバンド

入院中は、患者さんがご本人であることを職員が確認するために、**お名前や患者番号(ID番号)**などを表示したリストバンドの着用をお願いしております。あらゆる場面でリストバンドを使用して患者さんの確認を行っています。



▲リストバンド

お名前の確認

患者さん確認の際、リストバンドの確認に加え、**患者さんにフルネームと生年月日をお答えいただいております。**患者間違いを防ぐために、何度もお名前をうかがいます。



転落・転倒防止について

環境の変化や、病気やケガにより体力や運動機能が低下し、転落・転倒の危険が生じることがあります。以下の点にご注意ください。

履物

履物が原因で、つまずいたり、転んだりする場合があります。

- 転倒防止のため、**足のサイズにあった脱げにくいもの、底が滑りにくい履物**をご使用ください。
- かかとが低く、履き慣れた靴タイプのものが安全です。
- 樹脂製サンダルは転倒の危険性がありますので、ご使用を控えてください。
- 売店にて、転倒予防シューズを販売しております。購入の際はご相談ください。



▲転倒予防シューズ



▲樹脂製サンダル

ベッドの柵・高さ

- 患者さんの状況に合わせてベッドの高さを調整させていただく場合があります。
- ベッド柵は、転落防止のため必ず左右に一つずつ設置しております。
- ベッドの乗り降り時は、柵を持ち安全に移動してください。
- ベッドの上に立ち上がらないでください。

ナースコールについて

- いつでも手の届きやすいところに置いておきましょう。
- トイレへの移動時などにふらつきや気分不快がある場合はナースコールでお知らせください。
- 病状により、動かれる際にナースコールでお知らせいただくよう説明があった場合は、必ずナースコールでお知らせください。
- 看護師への連絡や気分不快時にもナースコールでお知らせください。
- * ナースコールを遠慮され使用されないことで、転倒や転落などにつながる場合があります。
「これくらいは大丈夫」と過信されずに、ナースコールをご使用ください。



オーバーテーブル・床頭台を使用する際や点滴を行っている場合

- オーバーテーブル、床頭台、点滴スタンドなどキャスター（車輪）が付いているものは、体重をかけたり、支えにしようとすると動いて危険です。
- 点滴スタンドにつかまって立ち上がる、寄りかかる、足を乗せることなどはしないでください。
- トイレに行く場合など、点滴スタンドを押して歩行する場合はゆっくり歩いてください。また、通路での段差やカーテンなどに引っかからないよう十分にご注意ください。



車いす使用について

- 当院では転倒防止のため、車いすの自走は原則禁止しております。
- 車いすの自走は、理学療法士からの指導が必要です。
- 車いすへの乗り降りの際は転倒の危険性があります。乗り降りについてご不明点やご不安な点がある場合はおたずねください。



外出・禁煙・禁酒について

- 安全のため、入院中の外出（近所のコンビニエンスストアなども含む）・外泊には主治医の許可が必要です。
- 入院中は禁煙（電子タバコを含む）・禁酒です。
- 当院は敷地内（本館5階庭園・東館4階庭園・駐車場周辺含む）全館禁煙となっております。
- 飲酒や、大声を出したり暴れたりするなど、他の患者さんに迷惑をかける方は退院していただくことがあります。



刃物類・火気類・不要な紐類の危険物持ち込み禁止について

- 自傷他害の危険性のある、ハサミ・包丁（果物ナイフを含む）・カッターなどの刃物類やライターなどの火器類、ロープなどの不要な紐類は、安全管理上、病院内（病棟）に持ち込むことはできません。



ハリーコール・コードホワイトの24時間放送について

- ハリーコールは、病院内で患者さんの容態が急変するなどの緊急事態、コードホワイトは病院内で暴力行為が発生した際に、病院職員を呼び集めるための緊急呼び出し放送のことをいいます。当院では、ハリーコール・コードホワイトの24時間放送体制を導入しております。ご理解をお願いします。



災害発生時の対応

- 万が一、入院中に火災や災害が発生した場合は、職員の指示や館内放送に従ってください。また、避難する必要がある場合は、職員の誘導に従って避難してください。

患者さんの安全のために



『せん妄』予防について

せん妄は、環境や体調の変化、手術や検査、薬の調整などによる心身への負担が原因で、意識が混乱した状態をいいます。認知症とは異なり突然発症し、個人差はありますが一過性である場合がほとんどです。対策をとることで発症を予防できる可能性があります。

『せん妄』には以下の症状があります

- 夜眠れなくなる
- そわそわして落ち着かない
- 興奮する
- ぼーっとする
- 会話のつじつまが合わない
- 記憶があいまい
- 幻覚が見える・聞こえる

『せん妄』になりやすい方の特徴

- 高齢の方
- 物忘れが目立ってきた方
- 脳梗塞や脳出血になったことがある方
- 過去、入院時にせん妄症状がみられた方
- 睡眠薬を服用されている方
- アルコールをたくさん飲む習慣がある方



『せん妄』を予防するために

〈入院前の準備〉

必須ではありませんが、せん妄予防のため、下記の持ち物もご検討ください。

- 日時を確認するためのカレンダー・時計（置き時計）
- 周囲の環境が確認しやすいように普段使用している眼鏡・補聴器など
- 使い慣れた洗面道具・タオルなどの日用品



〈入院したら〉

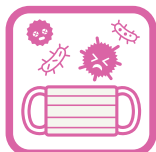
- カレンダー・時計は見える位置に置き、日時の確認を行ってください。
- 昼・夜の生活リズムを整えるために、可能な限り日中は起きてお過ごしください。
- 周囲の環境を確認していただくために、眼鏡・補聴器をご使用ください。
- 痛みや便秘、不眠など不快な症状は、せん妄を発症しやすい状況になりやすいため症状を取り除くことが重要です。我慢せず、早めにご相談ください。

『せん妄』が起こった時

精神的なストレスが大きくなるだけでなく、点滴やチューブなどを自分で抜いてしまい治療の継続が困難になったり、転落・転倒に至ることもあります。

精神的・身体的苦痛を最小にとどめるよう、医療チームで薬剤の調製や治療環境を調整しせん妄の治療にあたります。

予防・治療に際しては、ご家族のサポートが重要になりますのでご協力をお願いします。



感染防止

病院には、病気や治療で免疫力の低下した患者さんが多く入院しています。当院では、感染予防の基本である手指衛生をはじめとする対策に取り組んでいますが、すべての患者さんの安全な療養生活のために、入院される患者さんならびにご家族を含む面会の方々へもご理解とご協力をお願いします。

入院患者さんへお願い

- 病室入口にある**手指消毒剤**で手を消毒しましょう。
- 食事の前、トイレの後には石鹸と流水による手洗いをしましょう。
- 入院前に、ご自身が**人にうつす可能性のある感染症と診断された場合は、事前にご連絡ください。**(ご自身に症状がなくても、同居者に上記診断がある場合はご連絡ください。)



* 感染管理上必要と判断された場合は、病室の移動や行動制限、面会制限などをお願いすることがあります。

ご家族ならびに面会の方へお願い

- 病室へ入室する前と、退室する時には**病室入り口の手指消毒剤**で手を消毒しましょう。
- 発熱、咳などの**かぜ症状がある方、その他下痢、嘔吐、全身性の発疹などの症状がある方との面会**はご遠慮ください。またご家族に**感染症の診断がある場合には面会をお断り**する場合があります。
- 感染防止のため、中学生以下のお子様を連れての面会はお控えください。また面会は**1回につき3名以内**でお願いします。



感染症の流行状況などにより面会制限をする場合がございます。最新の情報は、ホームページでご確認いただきますよう、お願いします。



ご協力をお願い

診療の現場では、患者さんに使用した注射針や器材などにより職員が受傷することがあります。そのようなことがないように細心の注意を払っておりますが、万が一発生してしまった場合には受傷した職員への適切な対応が必要なため、誠に恐縮ですが、患者さんの血液検査(B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、後天性免疫不全症候群HIV)をお願いする場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。その際の検査費用は病院が負担いたします。

ご不明な点やお気付きのことがございましたら遠慮なくお声がけください。

入院の準備

入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

退院にむけた支援について

ホームページでも
ご覧いただけます。



入院から退院、退院から在宅まで継ぎ目のない支援を行います

原三信病院グループでは、治療と暮らしをサポートするため、治療ステージに応じて転棟・転院・退院の最適なタイミングをご案内しております。

社会医療法人 原三信病院



入院

1～2週間程度 急性期病棟

- 手術・処置
- 内科的処置
- リハビリ



2～6週間程度(最大60日)

地域包括ケア病棟

- 継続治療
- リハビリ
- 退院準備
- 介護保険申請



～急変時の受け入れなど～

急性期病棟について

重症または緊急度が高く早急に治療が必要な急性期の患者さんを治療する病棟です。急性期とはケガや病気になって間もない時期や病状が安定せず集中的な治療が必要な時期です。救急搬送された方やかかりつけ医から紹介された方、当院の外来診療を受けた方などで、検査・手術が必要な方を受け入れております。

●入院診療費について

入院費用は「DPC(包括支払い方式)」を採用しております。▶16ページ参照

地域包括ケア病棟について

入院治療の過程で急性期における手術や治療が終了し、すぐに退院するには不安のある患者さんへ在宅復帰や施設への入所に向けた医療・看護・リハビリを行うことを目的とした病棟です。また、在宅療養中に入院が必要となったとき、かかりつけ医から依頼を受けて支援する病棟です。その他、ご家族のレスパイトケアとしての支援も行っております。

症状の変化により主治医が集中的な急性期治療が必要と判断した場合は、急性期一般病棟へ転棟いただく場合があります。

状態が落ち着き急性期を脱したと医師が判断した患者さんには、早期の退院・転院をお願いしております。
急性期治療が必要な患者さんに入院ベッドを提供するため、ご理解とご協力をお願いいたします。
退院までの流れや退院後の生活など、ご不安な点がございましたら、各病棟の退院支援担当者や看護師、入退院支援センターの職員にお気軽にご相談ください。

入退院支援センター：月～金（平日）9:00～17:00

入院の準備

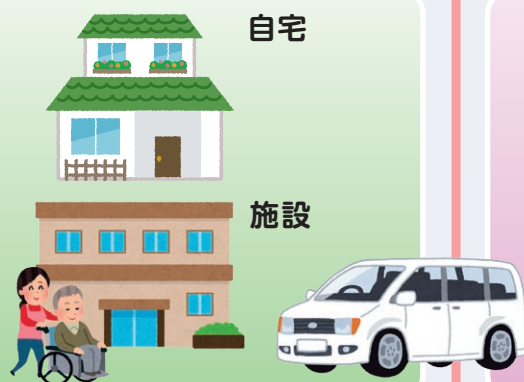
入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

退院（通院）



必要時

訪問看護ステーションおおはま
または地域の訪問看護ステーション

- 1人・老々世帯
- 在宅で継続治療・ケア
- 処置
- リハビリ
- 服薬支援
- 認知症・不安
- 痛みのコントロール



▶ 詳しくは
ホームページを
ご覧ください

転院

長期リハビリ2～4カ月程度・長期療養2カ月～数年程度

香椎原病院または地域の回復期病院

- 長期リハビリ
- 長期療養

香椎原病院（原三信病院から車で20分）



紹介動画

- 緩和ケア

▶ 詳しくは、香椎原病院ホームページをご覧ください

● 退院支援はどんな場合に対象になるの？

- 退院するにはもう少し経過観察が必要な方
- 継続的または集中的なリハビリが必要な方
- 在宅復帰に向けた療養準備が必要な方
- 介護施設などへの入所待機中の方

● 入院診療費について

「地域包括ケア病棟入院料2」を算定いたします。定額で、入院基本料・投薬・注射・画像診断・リハビリなどが含まれます（一部、手術や透析などは含まれません）。

患者さんの生活の質（QOL）維持のためにも、
他職種で連携し、入院時から早期退院や
退院後に向けた支援を行っております

理学療法士など

薬剤師

管理栄養士など

医師

MSW

退院支援看護師



服薬支援

退院支援

リハビリ支援

栄養相談

退院が決定した患者さんへ



退院の流れ

退院が決定しましたら、以下の順序で退院となります。

- 1 退院前に、**退院療養計画書**および**必要書類・内服薬**などをお渡しいたします。
- 2 退院当日、お帰りになるまでに**リストバンドの取り外し**、**体温計**、**セーフティボックスの鍵(該当の方)**の回収を行います。
- 3 退院当日、事務担当者が**入院診療費請求書**をお持ちしますのでお部屋でお待ちください。(急な退院の場合は少々お時間をいただく場合があります)
- 4 入院診療費請求書を受け取られましたら、**スタッフステーションにお立ち寄り**ください。その後**入院診療費をお支払い**いただき、退院となります。

▶[会計場所については下記参照](#)



お忘れ物について

- お忘れ物が無いよう、退院前に再度荷物の確認をお願いいたします。
- お忘れ物があった場合は、**病棟にて1カ月間お預かり**いたします。1カ月を過ぎた場合は、処分いたします。お忘れ物にお気づきの場合は、速やかにご連絡ください。
- 冷蔵庫内に残っていたものは処分いたします。ご了承ください。



お支払い

入院診療費のお支払いについて

お支払い

- 入院診療費は、**自動精算機**または**窓口**でお支払いをお願いいたします。

▶[20ページ\(本館1階フロアマップ\)参照](#)

ホームページでも
ご覧いただけます。



会計時間	会計方法	窓 口	自動精算機
月～金(平日) 9:00～17:00		会計窓口(本館1階)	本館1階／東館1階
上記以外		救急外来受付(別館1階)	本館1階

- * 退院当日に入院診療費請求書をお渡しできない場合、郵送いたします。
- * クレジットカードでのお支払いも受け付けております。
- * スマホ決済サービスには対応しておりません。
- * 入院診療費の概算をご希望の方は、平日スタッフステーションにてお申し出ください。

入院診療費について

- 当院は、厚生労働大臣が指定する「**DPC(包括支払い方式)対象病院**」です。マイナンバーカードや資格確認書は通常通り使用できます。また、一部負担金の割合も変わりません。
- **高額療養費制度や限度額の適用などの各種保険制度は、通常通りご利用いただけます。**
- 「DPC」についての詳しいご説明 ▶[次ページ参照](#)
- **食事負担金、室料差額や診断書などの自費料金については、別途ご請求**いたします。室料差額は、入退院の時間に関係なく、入院日・退院日をそれぞれ1日分として計算しております。
- 入院診療費の定期請求は、**毎月1回(1日～月末締め)**で、翌月12日頃に、請求書を各病室にお届けいたします。

入院診療費の計算方法について

当院はDPC対象病院です

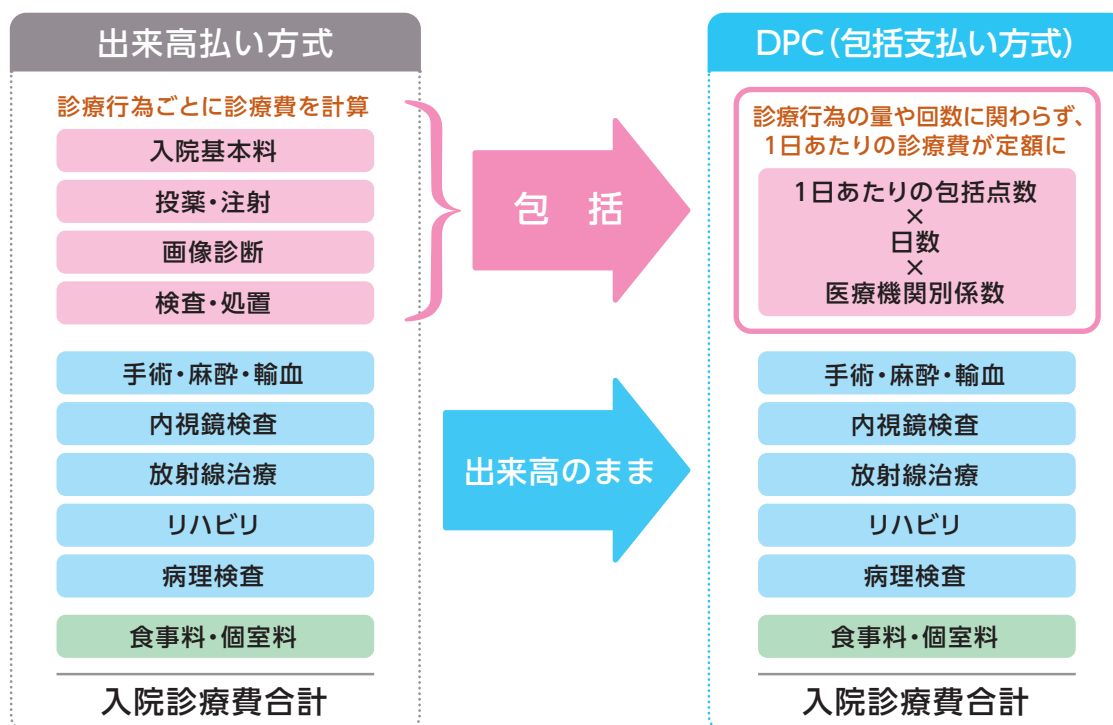
DPC (包括支払い方式) とは？

DPCとは病名や治療内容に応じて定められた1日あたりの定額費用を基本とし、入院診療費を計算する方法です。診療行為ごとに診療費を計算する出来高払い方式とは違い、診療内容に関わらず1日あたりの入院診療費が定額になります。
*手術や一部の処置・検査などについては包括項目に含まれないため、出来高払い方式で計算されます。

$$\text{入院診療費} = \text{1日あたりの包括点数}^{\ast 1} \times \text{入院日数} \times \text{医療機関別係数}^{\ast 2} + \text{出来高点数}^{\ast 1}$$

※1 点数:1点を10円として計算します。

※2 「医療機関別係数」: 病院の機能に応じて病院ごとに定められている一定の係数。これにより同じ病名・治療でも病院によって診療費の総額が異なります。



DPC入院診療費Q&A

Q. 全ての入院患者がこの制度の対象となるのですか？

- A. 基本的に一般病棟に入院される全ての患者さんがDPCの対象となりますが、次の場合を除きます。
- 病気、病状や処置などの内容によっては、DPCでの計算方法が適用されず、出来高算定方法となる方
 - 治験、労災、交通事故などの自由診療で入院される方
 - 地域包括ケア病棟 (本館4階) へ入院される方

Q. 長期間入院しても1日当たりの入院診療費は同じですか？

- A. 1日あたりの入院診療費は、患者さんの病名や治療内容に応じて決まる区分 (診断群分類) ごとに3段階に区分されており、入院が長くなるほど1日当たりの入院診療費は低くなります。また、入院が長期にわたり診断群分類ごとに定められた入院日数を越えてしまうと、越えた日以降は出来高計算になります。

Q. 同じ病気で同じ入院日数なら支払額は同じですか？

- A. 病気が同じでも、出来高部分の治療によって入院診療費に違いが出ます。特に手術、リハビリ、胃カメラなどを行う場合は出来高部分に個人差があります。

Q. 入院診療費の支払い方法は変わりますか？

- A. 入院診療費の支払い方法は、従来の方法と変わりません。但し、入院後の病状の経過や、治療内容の変化などによって診断群分類が変更された場合は、入院初日に遡って入院診療費の計算をやり直すため、請求額が一部変更となります。退院時などに前日までの支払額との差額調整を行うことがあります。予めご了承ください。

ご不明な点がございましたら、職員までお問い合わせください。

高額療養費制度

高額療養費制度について

1カ月(1日から月末まで)に医療機関の窓口での支払い額が一定の金額(自己負担限度額)を超えた場合、超えた額が申請により払い戻される制度です。なお、食事療養費(食事負担)や室料差額、保険外負担分は自己負担限度額に含まれません。

限度額の適用について

認定されると、1カ月(1日から月末まで)の入院医療費のうち窓口でのお支払い額が自己負担限度額までになります。高額療養費制度のような払い戻し手続きは必要ありません。なお、食事療養費(食事負担)や室料差額、保険外負担分は自己負担限度額に含まれません。

マイナンバーカード等を利用することで、限度額適用認定の手続きが不要となる場合があります

● **限度額の適用が認定された場合** 医療機関の窓口で支払い(所得区分に応じた限度額まで)

医療費の総額	
自己負担限度額	公的な医療保険制度負担(総医療費の7～8割)

* 限度額の適用を認定する方法

- ① マイナ保険証をお持ちの場合
健康保険証利用をご登録いただくと完了です。
- ② マイナ保険証をお持ちでない場合
限度額認定の情報提供にご同意いただくと、職員がオンライン資格確認システムより確認いたします。

国民健康保険	自治体の国民健康保険窓口
協会けんぽ・船員保険	全国健康保険協会窓口
共済・組合健保自衛官	職場の担当窓口

限度額の適用を希望される方は受付窓口へお声がけください。詳細については、各保険者(公的健康保険の保険者窓口)へご相談ください。

自己負担限度額と食事療養費

(2026年8月現在)

制度改定により、記載の区分、金額が変更になることがあります。最新の情報につきましては、ホームページでご確認いただきますようお願いいたします。

ホームページで
最新情報を
ご覧いただけます。



70歳未満の方

所得区分	自己負担限度額	自己負担限度額 (多数該当※)	食事負担 (1食につき)
ア(標準報酬月額83万以上)	270,300円 + (総医療費 - 901,000円) × 1%	140,100円	550円
イ(標準報酬月額53万～79万)	179,000円 + (総医療費 - 597,000円) × 1%	93,000円	550円
ウ(標準報酬月額28万～50万)	85,800円 + (総医療費 - 286,000円) × 1%	44,400円	550円
エ(標準報酬月額26万以下)	61,500円	44,400円	550円
オ(低所得者) (被保険者が市区町村民税の非課税者など)	36,900円	24,600円	270円 (入院90日超は220円)

70歳以上の方・後期高齢者医療制度にご加入の方

所得区分	自己負担限度額(世帯ごと)	自己負担限度額 (多数該当※)	食事負担 (1食につき)
現役並みⅢ (標準報酬月額83万以上・高齢受給者証の負担割合3割)	270,300円 + (総医療費 - 901,000円) × 1%	140,100円	550円
現役並みⅡ (標準報酬月額53万～79万・高齢受給者証の負担割合3割)	179,000円 + (総医療費 - 597,000円) × 1%	93,000円	550円
現役並みⅠ (標準報酬月額28万～50万・高齢受給者証の負担割合3割)	85,800円 + (総医療費 - 286,000円) × 1%	44,400円	550円
一般 (現役並み・低所得以外の方)	61,500円	44,400円	550円
低所得Ⅱ (被保険者が市区町村住民税の非課税者など)	25,700円		270円 (入院90日超は220円)
低所得Ⅰ (被保険者が市区町村住民税の非課税者など)	15,700円		130円

※ 多数該当 直近12カ月で3回以上高額療養費の支給を受けた場合は多数該当となります。(限度額適用認定証を使用し、自己負担限度額を負担した場合も含みます。)



診断書・証明書等について

お申込み・受け取り窓口

- 診断書や証明書の交付を希望される方は、本館1階外来総合受付でお申し込みください。

▶ 20ページ(本館1階フロアマップ)参照



対応時間

月～金(平日) 9:00～17:00

*入院中でもお申し込みは可能ですが、診断書や証明書は退院が決定後に作成いたします。

申込方法

- 本館1階外来総合受付にて「文書交付願い」をお渡しします。必要事項をご記入ください。
保険会社などの所定の様式を「文書交付願い」に添えてご提出ください。
- *患者さんご本人からのお申し込みが原則です。ご本人以外の代理の方がお申し込みされる場合は「委任状」および代理の方の「身分証明書」が必要となります。

お知らせ

- 診断書などは、利用目的によって記載内容が異なります。ご希望の記載内容をお知らせください。
- 診断書などの作成には、2週間ほどお時間をいただきます。

注意事項

- 診断書などを受領後、患者さんの要望などにより記載内容を訂正、再発行することはできません。
- 疾患の内容によっては診断書などが複数枚となることがあります。
- 診断書などの作成にあたり、必要事項を確認するために改めて診察を受けていただくことがあります。

お渡し方法

- 出来上がった診断書などは郵送いたします。お申込みの際に別途、郵送料をお支払いいただきます。
- 診断書などは病名など様々な個人情報が記載されているため、郵送をご希望の場合はレターパックをお勧めしております。普通郵便での発送を希望され、万が一お手元に届かなかった場合、当院では責任を負いかねますのでご了承ください。
*レターパックは、本館1階売店で販売しております。▶ 20ページ(本館1階フロアマップ)参照
- 診断書などの受け取りにご来院いただく場合はお申し出ください。受け取りには、申し込み時にお渡しする「文書交付願い」と、「診察券」または「身分証明書」を必ずご用意ください。代理の方が受け取りに来られる場合は、「文書交付願い」と「委任状」および代理の方の「身分証明書」をご用意ください。ご用意のない場合は、お渡しできません。

入院の準備

入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内



各種相談窓口のご案内

当院では、患者さんやご家族からの医学的なご質問・生活上および入院上のご不安など様々なご相談をお受けする窓口を設置しております。ご相談がございましたら、お気軽にお立ち寄りください。

* ご相談により患者さんの権利が侵害されることはありません。守秘義務を厳守し、ご相談をお受けします。

* 入院中のご相談は、各病棟の専任の担当者にお声かけください。

対応時間

月～金(平日) 9:00～13:00 14:00～17:00



患者相談窓口 【本館1階】

▶20ページ参照

患者相談窓口では、患者さんやご家族から病気に関する医学的なご質問や、生活上および入院上のご不安、医療安全に関する事など様々なご相談をお受けしております。何かご心配な事がございましたら、看護師・メディカルソーシャルワーカー・薬剤師・医療安全管理者など適切な担当者と連携を取りながら丁寧に対応します。

このようなご不安ございませんか?お気軽にご相談ください。

- 医療相談 ● 病気の内容、症状、病気に伴う苦痛、副作用など ● 治療、検査、薬に関する内容
- 医療安全 ● 医療安全に関する内容 ● 医療に関する疑問や相談、ご意見など
- 各種制度 ● 高額療養費制度、社会福祉制度、介護保険、介護サービスなど

がん相談支援センター 【本館1階】

▶20ページ参照

治療やこれからの生活、仕事のこと、気持ちのつらさなど、患者さんやご家族のお悩みについて相談をお受けしております。がん専門相談員が相談内容に応じて様々な専門職と連携して対応しております。おひとりで悩まずにご相談ください。

* 当院に入院・通院されていない方からのご相談もお受けしています。

* 相談は無料で秘密厳守のうえ、対応いたします。

* **がんに関する情報を、本館1階総合受付周辺・カフェエリア内、東館1階出入口周辺に設置しております。**

がんのこと、1人で抱えずに、話してみませんか?

- 病気と日常生活のこと ● 治療や副作用のこと ● 治療と仕事の両立 ● 緩和ケアについて
- アピアランスケア ● セカンドオピニオン ● これから先のこと、人生会議(アドバンス・ケア・プランニング; ACP)

入退院支援センター 【本館5階】

▶21ページ参照

入退院支援センターでは、看護師やメディカルソーシャルワーカーを配置し、入院に関する説明や退院準備のサポートなどを行っております。病棟看護師・薬剤師・管理栄養士などの他部門や、他施設とも連携を取りながら、入院前から退院後まで患者さんやご家族が安心して過ごせるよう支援いたします。

入院生活・退院後の生活についてご不安がございましたらご相談ください。

- 入院時支援 ● 入院時の手続きや準備について ● 入院中のお薬や食事について
- 退院支援 ● 転院について ● 介護について ● 在宅医療について ● 福祉サービスについて など

本館 1 階フロアマップ

ホームページでも
ご覧いただけます。



外来総合受付

[平日] 9:00~17:00
診断書や証明書の交付をご希望
の方は、こちらにお越しください。



会計窓口

[平日]
9:00~17:00



自動精算機



ATM 西日本シティ銀行

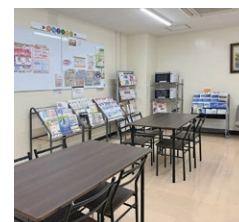


[平日]
9:00~19:00
[土曜]
9:00~17:00
[日祝日] 利用不可
年末年始の利用時間は
異なる場合があります。

入院受付



カフェエリア (情報コーナー)



[平日]
8:30~19:00
[土・日・祝日]
10:00~19:00

売店

入院用品、日用品、雑誌、お菓子、お弁当など
取り揃えております。



[平日]
8:30~18:00
[土・日・祝日]
10:00~13:30
14:30~17:00

患者相談窓口

☎092-291-3434 (代表)
[平日] 9:00~13:00
14:00~17:00

がん相談支援センター

☎092-291-3452 (直通)
[平日] 9:00~17:00



入院の準備

入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

病院敷地図・立面図

ホームページでも
ご覧いただけます。



病院敷地図



東 館	
8F	東館8階病棟
7F	東館7階病棟
6F	東館6階病棟
5F	東館5階病棟
4F	東館4階病棟
3F	手術室 心臓・血管造影室 病理診断科
2F	泌尿器センター・消化器病センター 外科・婦人科・外来化学療法室 検査部門 結石破砕室・透視下手術室
1F	総合案内 CT・MRI室
B1F	放射線治療・RI室 ハイパーサーミア室

本 館	
8F	リハビリテーション室①
7F	歯科・口腔外科 訪問看護ステーション おおはま
6F	管理部門
5F	入退院支援センター ショートステイセンター リハビリテーション室②
4F	本館4階病棟 (地域包括ケア病棟)
3F	本館3階病棟
2F	健康管理センター 内視鏡センター
1F	外来総合受付・入院受付 内科・整形外科・脳神経科 医療連携課・検査部門 患者相談窓口・がん相談支援センター
B1F	管理部門

病院立面図

南 館	
管理部門	
管理部門	
管理部門 糖尿病教室	
管理部門	
管理部門	
薬剤科・売店 カフェエリア	
腎臓病センター (CKD外来・血液透析) 救急外来	

別 館	
管理部門	
管理部門	
管理部門	
管理部門	
管理部門	
管理部門	
管理部門	

こちらに関係資料を入れて保管してください。

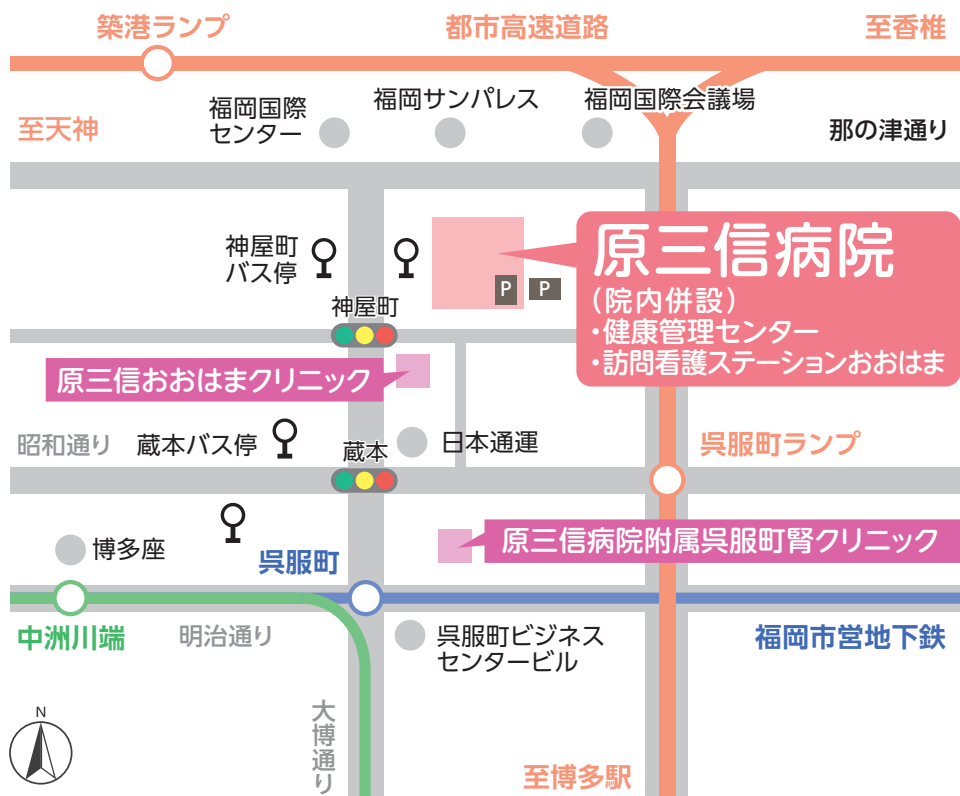
HARASANSHIN
HOSPITAL



ご意見箱のご案内

当院では、病棟および外来に「ご意見箱」を設置しております。診療のこと、職員の対応のこと、設備のこと、環境のことなど、お気づきの点やご意見、ご要望がありましたら、ご意見箱へご投函ください。





立体駐車場のご案内

ご利用時間	月～金 (平日)	土・日 祝日
第1立体 駐車場	8:00～ 19:00	8:00～ 19:00
第2立体 駐車場		

*上記以外の時間帯は無人のため出庫できません。

ご利用目的	ご利用時間 ・回数	料 金
外来診療 健康診断	1回/1日	300円
当日の手術 入退院の送迎※	1回/1日	300円
お見舞い 付き添い	1時間	300円 以降30分 ごと100円
夜間駐車(泊) 19:00～翌8:00	1泊2日	1,000円

※送迎のみに限ります。

*立体駐車場のご利用時間・料金は変更になる
ことがあります。

ホームページでも
ご覧いただけます。



病院への交通アクセス

西鉄バス

「神屋町」バス停前
「蔵本」バス停より 徒歩約3分

地下鉄

「呉服町」駅より徒歩約5分

タクシー

西鉄福岡 天神駅より 約5分
JR博多駅より 約5分
福岡空港より 約15分

博多港・埠頭(バイサイドプレイス)より
徒歩約10分

*博多埠頭からは送迎バス(シャトルバス)を
無料で運行しております。

ホームページでも
ご覧いただけます。



当院は救急指定病院です 救急の患者さんは24時間365日診療を行っております



原三信病院

〒812-0033 福岡市博多区大博町1番8号

<https://www.harasanshin.or.jp/>

TEL.092-291-3434 (代表)

FAX.092-291-3424 (代表)



2026年6月現在